

# 菟田野小だより「桜梅桃李」

No.14

令和4年 10月12日(水)

(<http://www.utano-e.ed.city.uda.nara.jp/>)

## 3年生：社会見学 (デイリーショップタナカ)

9月22日(木)に、3年生が社会科の学習でデイリーショップタナカへお店の様子の見学に行きました。

買い物でお店に来たことのある子もいましたが、子どもたちは店内を積極的に見て回り、普段はお客さんは



入ることのできないバックヤード(売り場以外の商品置き場や作業場などのスペース)の見学もさせていただきました。子どもたちはそれぞれに買い物しやすい工夫、働く人の工夫、売り上げを上げる工夫など、お店の様々な工夫を見つけました。また、あらかじめ考えていた質問に答えていただきました。お忙しい中、ありがとうございました。

## 1年生：御杖小・土庫小との交流

9月29日(木)に、1年生が大和高田市立土庫小学校の1年生とオンライン交流をしました。国語で製作した「いきものかくれんぼブック」を互いの学校にプレゼントしたので、そのお礼を述べ合いました。

また同じ時間帯に御杖小学校の1年生1名が菟田野小学校に来て交流しました。1年生は1時半の到着前から大はしゃぎ。教室で自己紹介し、土庫小学校とオンライン交流した後、体育館で「だるまさんがころんだ」「おにごっこ」をして楽しく遊びました。手をつな

いで学級掲示を紹介する子もいて、すぐ仲良くなりました。今後機会をとらえて、他校の児童との交流をしていきたいと思ひます。



## 思うこと⑤ 「感謝の心」

ある新聞のインタビューでの話です。

「私が教員になったことを、先輩が自分のことのように喜んでくれたんです」。先輩とは、この女性と共に教員の道を志した同郷の友人のことです。彼女は先輩に伝えます。「先輩がいたから今の私があります。ありがとうございます」。

今年3月で定年退職した男性教員は、2月ごろから毎日放課後の教室で「今日も元気に学校に来てくれて、ありがとう」とつぶやきました。子どもが登校してくれるから、自分が授業できる。このことに気が付くのにはずいぶん時間がかかったといいます。

2人に共通するのは「感謝の心」。自分が、どれだけ多くの人に支えられて生きているか。この自覚が乏しいと、どうしても自分中心になり、相手よりも自分を上に置いてしまいます。これでは感謝の心は生まれません。



ある先人はこう綴っています。

『ありがとう』の中には相手への敬意がある。謙虚さがある。人生に対する大いなる肯定がある。前向きな楽観主義がある。強さがある。『ありがとう』と素直に言える心は健康である。だから『ありがとう』を言うたびに、あなたの心は光ってくる」と。

当たり前を当たり前と思わず、常に感謝できる人でありたいです。“感謝を伝え合えば、免疫力が向上する”という医師もいます。「ありがとう」の思いを



(上・下とも運動会の一コマ)

日頃から言葉にしてみませんか。

本校を支えてくださるみなさま、いつも本当にありがとうございます。